

化学物質管理に係るリスクコミュニケーション教育カリキュラムに関する
ワークショップの開催について

1 背景と目的

横浜国立大学は文部科学省科学技術人材育成費補助事業「リスクコミュニケーションのモデル形成事業」に参画しています。本事業では、爆発、火災を含む化学物質のリスクをより適切に地域社会で管理するために行うリスクコミュニケーションについて、化学物質管理に携わる者が職能として持つべき基本的姿勢を学ぶ大学院カリキュラムを平成28年度から3年計画で作成しています。カリキュラムでは火災、爆発、健康リスクの評価手法のほか、住民とのリスクコミュニケーションの必要性を学ぶケーススタディ、リスクコミュニケーションのロールプレイを体験し、さらに場の企画や構築ができる能力を養う実習など実践的な内容です。平成30年度の本格的なカリキュラムの実施に先立ち、そのロールプレイの部分を実演し、ワークショップにて、皆様からの意見を戴く催しを企画しました。

参加希望者は~~2/28(水)までに~~、下記【問合せ・申し込み先】までメールにてお知らせください。

➤ 3/9 (金) までに延長

2 日時

平成30年3月19日（月） 10:00～17:30

3 場所

横浜国立大学 共同研究推進センター 2F 211 セミナー室

※参加希望者には、追って開催場所等の詳細をお知らせします。

4 内容

別紙に示すカリキュラムの主体となる模擬リスコミを実施し、その内容について評価する。

- ① 午前：本カリキュラムの概要説明
- ② 午後：模擬リスコミへの参加と評価

5 その他

- (1) 参加費は無料です。
- (2) 昼食については、やや不便なところですので、お弁当を準備したいと思います。

また、終了後、19時ころまで学内で懇親会を予定しています。希望者はお申込みの際にその旨お書きください。

担当

環境情報研究院 客員准教授 竹田 宜人

問合せ・申し込み先

リスク共生社会創造センター 非常勤教員 本間真佐人

電話 045-339-3994 メールアドレス homma-masato-yp@ynu.ac.jp

化学物質管理に係るリスクコミュニケーション教育カリキュラムに関する

ワークショップ参加申込書

ご所属	お名前	
項 目	○を付けてください	
お弁当	必要	不要
懇親会	参加	不参加

※ お弁当は当方で準備いたします。

※ 懇親会は 3000 円程度を予定しています。

※ 申込書の添付でも、必要事項をメールにご記入いただいても構いません。

3/19 ワークショップのプログラム案（想定参加者：日本リスク研究学会、CoSTEP 関係者、企業関係者等 30 名）

時間	プログラム	内容	
10:00 ～ 12:00	30	オリエンテーション	本日のワークショップのスケジュールと本カリキュラムの全体説明
	90	本カリキュラムで扱うリスクとリスクについて	事業所におけるリスクの概要（扱うリスク、用語の定義含む）について、リスクの背景と歴史やその成り立ち（公害）や基本概念（民主主義的思想や知る権利）を解説する。 化学物質のリスク（爆発、火災、健康影響）について、その評価手法等について解説する。
13:00 ～ 15:30	150	ワークショップ 1 リスク体感演習 (ロールプレイ)	<u>ロールプレイ（模擬リスク）</u> 模擬リスクは事業者からの説明と住民との質疑応答で構成される。主催者側が事業者、参加者が住民を担当する。 <事業者側からの説明> ① 工場の化学物質のリスクについて、説明する。 ② 工場が遵守する化学物質管理に関連する法令等を説明する。 ③ 化学物質を管理するためのプラント等の技術や社内体制について説明する。 <住民との対話> ④ 事業者側が説明したリスクについて、質疑応答を行い、事業者側は住民が感ずるリスクについて抽出していく。
15:30 ～ 17:00	90	ワークショップ 2 ワークショップ 1 への評価	<u>グループディスカッション（5人6班 30名を想定）</u> 参加者はリスク情報の内容、説明手法、対話の方法等を評価し、よりよいリスク情報の伝達手法を検討する。 ① グループディスカッション ② 班毎の発表 ③ 班ごとの相互評価
17:00 ～ 17:30	30	全体の振り返り	ワークショップ全体を通じて、参加者と意見交換を行う。